

## 深まる「幼保小連携・接続」の取り組み！

《武雄市》これからの幼保小連携・接続の話をしよう《育てたいこどもの姿をみんなで共有》

子育て支援  
“さが”



佐賀県子育て応援キャラクター  
さがっぴい

県内では、幼保小連携・接続の取り組みがますます広がっています！自治体のリーダーシップで架け橋プログラムを推進している武雄市の取り組みを紹介します。



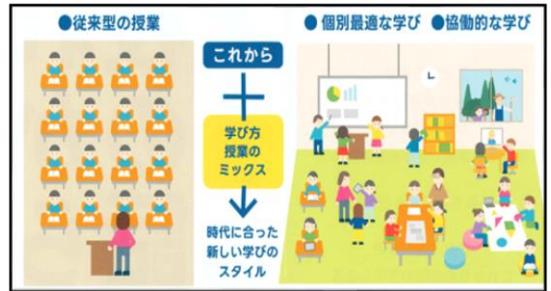
改めて、「架け橋期の教育の充実」の大切さを研修

- 武雄市では、市教育委員会のリーダーシップで市内すべての幼児教育施設の管理職及び担当教諭・保育士、小学校の管理職及び担当教諭等が一堂に会し「幼保小合同研修会」が開催されました。「架け橋プログラム」の基礎的な内容の研修を基に、小学校区別で園と小学校の先生方で話し合いが進められました。



お互いの「教育・保育の目標」や「育てたい子ども像」などを共有し、幼児教育から小学校教育でつながる学びを確認

- 研修会の冒頭、武雄市教育委員会 松尾文雄 教育長から「全市をあげて乳幼児期から小学校、中学校、そしてその後の高等学校等の学びにつながるよう『主体的、対話的で深い学び』の推進を図っています。とりわけ年長から1年生にかけての架け橋期は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期です。本日の研修がこれからの架け橋期の教育の充実につながるよう深めていただきたい。」とのお話がありました。



《武雄市の教育方針「これからの学校の話しよう」より抜粋》



和気あいあいとした雰囲気でも熱心に語り合われました。(架け橋期のコーディネーターも一緒に。)

### 《校区別協議での先生方の主な声》

- 「長年連携を進めている。小学校の先生方は園の取り組みも理解していただいている。園も小学校も子どもの考えや発想などを否定せず、認めほめて伸ばすようにしている。」(園の先生)
- 「入学当初は柔軟なカリキュラムを編成したいと考えている。その際は、園との話し合いをもとに取り組んでいきたい。」  
(小学校の校長先生)
- 「お互いの交流が深まっており、園と小学校のそれぞれで「焼きものづくり」体験ができるようにしている。同じ取り組みであるが発達段階の違いで、感じ方や技能面も違い、地域の良さを直接感じることができる。」  
(園の先生)



地域のこどもの姿や特色を十分に踏まえた話し合いが進められ、形だけでなく生きた「架け橋期のカリキュラム」の編成に向けた第一歩となる研修会でした。

## 《佐賀市立本庄小学校校区》「安心できる環境の中で『やってみよう!』と思える子ども」を目指した交流活動

「本庄小学校」とその校区内の「本庄こども園」、「ふたばこども園」、「城南保育園」は設置者、施設類型を超えて緊密に連携をとられています。園児（年長児）と児童（1年生）の交流活動も、すべてのこどもたちの育ちを願って、園と小学校の先生方の協力のもと創意工夫されています。

### 《秋の会》「もうすぐ1年生の会」（ひろい小学校で、いっしょにあそぼう!）

#### 《10月》園と小学校の事前打ち合わせ会

単なる交流活動で終わらないように、今年度から事前に打ち合わせをすることで、園、小学校それぞれにとって互恵性があるように取り組まれています。

#### 《11月》交流活動 → 交流活動のあとは振り返りの連携会議（管理職、担当）

1年生は、園児が小学校の遊びを体験できるように「秋のおもちゃゾーン」、「ドッジボール」、「ブランコ」、「大型遊具」等で遊ぶことができるよう準備しました。もちろん1年生の発想による楽しい計画です。グループをつくっておもてなしをしました。



《みんなであそぼう!》  
1年生のリードで盛り上がる交流会



《1年生のやさしいエスコート!》  
それぞれの遊びのコーナーへ



《全身を思い切り使って!》  
広い校庭で一緒に遊ぶ園児と児童



《秋のおもちゃゾーン!》  
1年生の手作りおもちゃ

### 《冬の会》「ぴかぴか1年生の会」（ペアで楽しく学校探検）

#### 《2月》園と小学校の事前打ち合わせ会

「交流活動で園児に体験させたいこと」について熱心な意見交換が行われました。園児に小学校への見通しをもつことができるよう、まずは教室での過ごし方など身近なことから体験できるように計画されました。

#### 《3月》交流活動 → 交流活動のあとは振り返りの連携会議（管理職、担当）

園からの提案を踏まえ「自分だけの机体験」、「くつばこ、図書室、保健室を中心に学校探検」が計画されました。



《教科書の紹介!》  
むずかしくないよ!



《教室ってすてき!》  
机、引き出し、筆箱に興味津々



《パソコンにわくわく!》  
一人一台と知ってびっくり!



《くつばこの紹介!》  
上履きに履き替えることを説明



連絡会議の締めくりに本庄小学校校長 本村一浩 先生から「秋、冬の交流活動の目的をはっきりさせて来年度も実施していきたい。交流活動を重ねることで園児の皆さんの入学に向けての期待感と安心感が大きく膨らんだことと思います。1年生も胸を張って園児の皆さんを引っ張っていて、その姿に大きな成果を感じました。」との来年度につながる温かい言葉がありました。



幼保小連携・接続の進め方や架け橋期のカリキュラム作成について  
基礎的なことから分かりやすくコーディネーターがお伝えします

《まずは佐賀県保育幼児教育センター(佐賀県 こども未来課)へお電話などで気軽にご相談ください》

☎ 0952-25-7616

✉ hy-c@pref.saga.lg.jp

様式等は [こちらから](#) →

